

防災・都市基盤

分類(出所)	番号	分類	項目	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
パブコメ (団体)	1	防災・都市基盤	学校施設の耐震化の推進	学校施設の耐震化については、耐震化率100%を目指して加速してもらいたい。	引き続き、耐震化を推進していきます。
パブコメ (団体)	2	防災・都市基盤	学校施設の耐震化の推進	耐震化工事の実施にあたっては、早期に事前協議してもらいたい。	学校運営に支障のないよう、早期に学校と協議をしていきます。
意見交換会 (1回目)	3	防災・都市基盤	学校施設の耐震化の推進	子どもの安心が重要なので、学校の耐震化を進めていただきたい。	学校施設の耐震化につきましては、早期の完了を目指して、耐震性能や建築年・老朽度等、施設の状況を勘案しながら、建替え又は耐震補強により進めていきます。
意見交換会 (3回目)	4	防災・都市基盤	学校施設の耐震化の推進	学校の耐震化を進めてほしい	学校施設の耐震化につきましては、早期の完了を目指して、耐震性能や建築年・老朽度等、施設の状況を勘案しながら、建替え又は耐震補強により進めていきます。
パブコメ (意見交換会)	5	防災・都市基盤	災害に強い安全なまちづくり	【進捗率の高い取組】 災害に強い安全な環境づくり 自主防災組織率 目標値 100%、実績 100% 達生 ※ 組織率100%は、県内最高の実績は評価できるが、活動面が不十分であり、課題山積である。	NPO法人と協働して各自主防災組織の活動を支援するとともに、防災士の自主防災活動への参加を促進するなど引き続き支援していきます。
パブコメ (意見交換会)	6	防災・都市基盤	災害に強い安全なまちづくり	災害に使う道具が用意してあるらしいが、宇部まつり等で市民に発表してはどうですか。	防災訓練やイベントなどで引き続き周知していきます。
パブコメ (意見交換会)	7	防災・都市基盤	災害に強い安全なまちづくり	市庁舎・消防署等は、市街地整備の観点だけでなく、防災・都市基盤整備としての重点をおく。 各種市民会議の意見を共通基盤として、反映させる。(特に、自主防災会や防災士の活用を入れる)	市庁舎の建替えについては、中心市街地のにぎわい創出のための事業と位置付けていますが、ご指摘のとおり、「防災・都市基盤」の整備として、災害に強い安心安全なまちづくりに寄与する事業でもあり、検討に当たっては十分配慮します。 防災に関する施策を検証し、改善するため、宇部市防災市民会議を設置しており、引き続きその意見や提案を施策等に反映させていきます。
意見交換会 (3回目)	8	防災・都市基盤	災害に強い安全なまちづくり	防災に関して避難所での女性の視点を入れてほしい。 トイレ、着替え、下着、化粧品、性被害が起きない環境づくりなど、細かな対策をお願いしたい。	宇部市防災基本条例第14条に「市、自主防災組織、教育機関及び事業者等は、避難所の運営に当たっては、女性の参画を推進するとともに、災害時要援護者に配慮するものとする。」と位置付け、さらに宇部市地域防災計画にも定めており、実際の避難所の運営にあたっては、自主防災会等の協力も得て女性の視点も大切にしながら取り組んでいきます。
意見交換会 (1回目)	9	防災・都市基盤	災害に強い安全なまちづくり	自主防災会が各校区で設置されるなど、市の実行力を感じている。	—

防災・都市基盤

分類（出所）	番号	分類	項目	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
意見交換会 （1回目）	10	防災・都市基盤	災害に強い安全なまちづくり	防災士の活動が実践的にできていないのでは経験を元に、足元をしっかりとしてほしい。	防災士の自主防災会活動への参加を促し、地域の実情に合った防災・減災活動の企画や運営を担っていただくなど、防災士の力を地域につなげていきます。
意見交換会 （3回目）	11	防災・都市基盤	災害に強い安全なまちづくり	防災士の養成を支援してほしい。 防災士養成後のフォローが必要	現在、養成後のフォローとしてステップアップ研修を開催するなど防災士のスキルアップを図っているところですが、今後は防災士の自主防災会活動への参加を促し、地域の実情に合った防災・減災活動の企画や運営を担っていただくなど、防災士の力を地域につなげていきます。
意見交換会 （2回目）	12	防災・都市基盤	災害に強い安全なまちづくり	山口県近郊には伊方原発、玄海原発などがあり、有事の際には影響があると思う。 安定ヨウ素剤の準備など原発事故に備えたりリスクマネジメントをしっかり考えてほしい。	原子力災害対策特別措置法の規定に基づき、原子力規制委員会が定めた「原子力災害対策指針」によると、本市は原子力災害にかかる防災対策を行わなければならない地域の範囲外にあります。そのため、現在のところ本市の地域防災計画などには、原子力発電所の事故等に伴う対策を盛り込んでいませんが、今後も国及び県の動向を注視し、必要に応じて防災対策を行っていきます。
パブコメ （意見交換会）	13	防災・都市基盤	災害に強い安全なまちづくり	思考停止してはならないのは、原発事故などによる放射能・放射線の危険性です 放射線は生命への直接的な脅威なので、エネルギー問題として扱うべきものではありません。人の命は、他の生き物の命によって支えられています。食物連鎖の視点でも考えなければなりません。 福島原子力発電所事故から3年になろうとしていますが、未だにどこまで放射能汚染・拡散するのか想像できません。恐ろしい事態です。冷静に考えれば、宇部は安心という訳にはまいりません。玄海原発と伊方原発（プルサーマル）があり、一旦事故が起きれば、風向きなどの気象条件によりどれほどの被害を受けるかわかりません。また、瀬戸内海が汚染されれば、海産物が食料として危険になります。そのような状況でありながら、上関原発建設中止が確定していません。 宇部市として、このようなリスクに対して、どのような方針を打ち出し、どんな対策を取って行くのか明確にすべきチャンスだと思います。安定ヨウ素剤を準備しておくことは絵空事ではありません。我々は子孫への責任があると思います。何もしなかったと言われないように。	原子力災害対策特別措置法の規定に基づき、原子力規制委員会が定めた「原子力災害対策指針」によると、本市は原子力災害にかかる防災対策を行わなければならない地域の範囲外にあります。そのため、現在のところ本市の地域防災計画などには、原子力発電所の事故等に伴う対策を盛り込んでいませんが、今後も国及び県の動向を注視し、必要に応じて防災対策を行っていきます。
パブコメ （メール）	14	防災・都市基盤	都市環境の質的整備	宇部市をより住みやすい町にするために宇部市内の道路についての意見。【別紙あり】 ①常盤通りを安全で利便性の高い道路へ。右折専用矢印信号の設置。駐車スペースに料金メーター設置。 ②松山町二丁目交差点の矢印信号の廃止。 ③国道190号線松山町の中央分離帯を撤去し、右折レーンの設置。 ④常盤町の交差点の信号機の信号を揃えてほしい。 ⑤国道190号線、西中町（湾岸道路入り口）から宇部市役所前の空き地利用。信号の変則時期。 ⑥国道490号線の小野一之坂トンネルの改良	『都市環境の質的整備』（P122）において、道路ネットワーク整備及び市内主要路線の交差点改良を実施し、交通の円滑化を図ります。国道190号、国道490号、宇部湾岸道路等の主要幹線道路の整備についても、市民の声を反映させながら、国、県と協議をしていきます。 また、信号機の設置、料金メーターの設置等については、地域と連携しながら、警察及び道路管理者と内容を協議検討していきます。
パブコメ （意見交換会）	15	防災・都市基盤	都市環境の質的整備	都市環境の質的整備（32P） 生活道路の整備；すべての住宅に、救急車、消防車、介護送迎車が行けるようにする。 （個人資産の評価を高めるため、原則工事費は受益者負担とする）	生活道路の拡幅整備を助成対象とすることは困難です。 なお、水路への蓋かけ等による局所的な有効幅員の確保策については、生活道路維持管理助成制度の活用が可能な場合がありますので、ご相談ください。
意見交換会 （1回目）	16	防災・都市基盤	都市環境の質的整備	490号線琴芝・神原小学校付近の拡張工事進捗が遅い。 工事を早く進めてほしい。	国道490号の拡幅工事は県事業であり、平成27年度の完成を目指していると報告を受けています。
意見交換会 （1回目）	17	防災・都市基盤	都市環境の質的整備	生活道路で狭いところが多い。 介護事業者の送迎車が入らない、消防車が入らないなど、生活道路が狭い地域の状況を確認してほしい。 市民の安心・安全につながる場所に資源を投入してほしい。	生活道路の拡幅整備を助成対象とすることは困難です。 なお、水路への蓋かけ等による局所的な有効幅員の確保策については、生活道路維持管理助成制度の活用が可能な場合がありますので、ご相談ください。

防災・都市基盤

分類（出所）	番号	分類	項目	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
意見交換会 （1回目）	18	防災・都市基盤	都市環境の質的整備	側溝の蓋が少ない。安心して通学できるようにしてほしい	平成24年4月に全国各地で発生した登下校中の交通事故を受け、教育委員会が主体となり道路管理者、地元警察署及び関係部署が連携して、「宇部市通学路安全対策合同会議」を設置し、危険箇所への安全対策促進に取り組んでいます。
意見交換会 （2回目）	19	防災・都市基盤	都市環境の質的整備	厚南地区の歩道は高齢者にとって使いにくい。平坦にさせていただくなど整備をお願いしたい。	『歩行者と自転車にやさしい都市環境整備』（P126）において、歩道の段差解消や舗装改良等を実施し、歩行者の安全性確保に取り組めます。
パブコメ （意見交換会）	20	防災・都市基盤	都市環境の質的整備	「都市環境の質的整備」市役所を中心としたサービスのワンストップ化の構築が必要だと考えます。	中心市街地や地域拠点への都市機能の集約化と地域間を結ぶ公共交通の利用促進によるコンパクトシティを目指した低炭素まちづくりを進めていきます。
パブコメ （メール）	21	防災・都市基盤	都市環境の質的整備	2. 安心面の取組「自転車・歩行者道の整備」 6ページの安心面について成果の検証のうち、7ページに取組として、次が挙げられています。 取組名： 自転車・歩行者道の整備 成果指標： 「あんしん歩行エリア」交差点段差解消箇所数（累計） 目標値： 349箇所 実績： 349箇所 進捗率： 達成 上記取組は、本来、軽車両という車の仲間である自転車を、自転車・歩行者道に据え置く政策で、歩行する高齢者や子育て世代、障害者や子どもたちにとって、非常に危険であると言わざるを得ません。	「あんしん歩行エリア」は歩行者・自転車の事故密度が高く、公安委員会と道路管理者が事故減少につながる様々な対策を実施する区域です。 交差点の段差解消はこの対策の一つであり、自転車だけでなく、車椅子やベビーカー、高齢者、障害者等が安全に通行できる歩道を整備することを目的としています。
パブコメ （意見交換会）	22	防災・都市基盤	歩行者と自転車にやさしい都市環境整備	私は自転車に乗るのが好きです。少しの遠方でもマイカーを使わず、自転車を利用します。低炭素・・・に協力しています。ところで、目的地（例：コンサート、イベント会場）へ行ったとき、駐輪場が少ないと感じます。せっかく低炭素・・・に協力しているのに、車を使う人の方を優先しているのではと、ちといじけてしまいます。自転車ライダーを優先していただけないか。	『歩行者と自転車にやさしい都市環境整備』（P126）において、駅周辺などの自転車駐輪場を整備し、利用者の利便性の向上を図ります。
パブコメ （意見交換会）	23	防災・都市基盤	歩行者と自転車にやさしい都市環境整備	歩行者の道は、一歩わき道に入れば、凸凹道や暗くて車優先の道のためか信号や横断歩道が少ない。雨の日のスピードを落とさない車からの水しぶきには泣かされる。	幹線道路等で囲まれた区画内の生活道路や通学路が集積している区域を「ゾーン30」として設定し、ゾーン内の最高速度を30kmに規制するなど、歩行者や自転車の安全を優先した交通事故防止策に、宇部警察署と協働して取り組んでいきます。
パブコメ （意見交換会）	24	防災・都市基盤	歩行者と自転車にやさしい都市環境整備	前期計画の中で、「自転車・歩行者の整備」で349箇所の完全達成がなされましたが、いわゆる「自、歩道整備」だと思います。 平成25年10月の改正道路交通法にあるように、自転車は路側帯においても左側通行となりました。現在の幅広歩道内での自転車走行帯ではなく、車道内左側域に自転車専用レーンを逐次実現していくことを要望します。特に旧産業道路といわれた路線付近では、モデル路線になりうると考えます。 ちなみに、私は市民団体「うべ交通まちづくり市民会議」の会員です。 なにとぞ、宜しく対処の程お願い申し上げます。	自転車の走行環境整備については、現在策定中の「低炭素まちづくり計画」の中で、検討していきます。

防災・都市基盤

分類(出所)	番号	分類	項目	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
意見交換会 (2回目)	25	防災・都市基盤	歩行者と自転車にやさしい都市環境整備	「歩行者と自転車にやさしい都市環境整備」の目標で、段差解消は結構である。が、全国的に、自転車は車両であり車道を走るようにしましょうという流れのなか自転車走行ネットワーク整備のガイドラインが策定されてきている。そのなかでは自転車歩行車道は勧められないという位置付けである。自転車が安心安全に走れる車道の環境整備や、線としてのネットワークの構築などを中期実行計画に入れてほしい。	自転車の走行環境整備については、現在策定中の「低炭素まちづくり計画」の中で、検討していきます。
パブコメ (メール)	26	防災・都市基盤	歩行者と自転車にやさしい都市環境整備	32ページ 「歩行者と自転車にやさしい都市環境整備」 本市が目指す低炭素まちづくりにおいて、過度な自動車への依存から脱却するためには、工夫可能な路線から、車道に自転車専用通行帯を整備したり、自転車通行位置の明示を行うことが極めて重要です。2012年11月に国土交通省と警察庁から発表された、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」に沿って、工夫できることから、自動車の車線を減らしたり、一方通行を入れたり、ゾーン30として制限速度を30km/時として、自転車を歩道から車道に誘導するよう、先進自転車まちづくりを目標としてください。 また、自転車には左側通行を初めとする交通ルールの遵守を啓発すること等、市民活動や学校教育との連携で実施し、自転車事故の件数を減らす目標も挙げることができます。自転車が通行しやすく、歩道が安心して通行できることは、安心して子育てできる環境づくりや、市内で学ぶ大学生が、宇部市に愛着をもち、第二の故郷として住み続けたい、働き続けたい愛着を持てるかにも関わってきます。自転車を利用してサイクル&ライドを広めることで、公共交通のバス路線やJR宇部線の利便性向上、利用者増加につなげる施策を推進すべきです。	自転車の走行環境整備については、現在策定中の「低炭素まちづくり計画」の中で、検討していきます。 交通ルールの遵守、啓発については、現在実施している交通教室の充実、拡充につとめ、警察・教育機関等と連携しながら、自転車の交通マナーアップにつとめ、自転車の事故の撲滅にとりくんでまいります。
パブコメ (団体)	27	防災・都市基盤	歩行者と自転車にやさしい都市環境整備	歩行者と自転車にやさしい都市環境整備の項 ①<課題>のところに自転車の交通ルール遵守/マナーの徹底が必要 ②目標指標で自転車駐輪場収容台数が2000台で課題が解決できるか？	②『歩行者と自転車にやさしい都市環境整備』(P126)において、駅周辺などの自転車駐輪場を整備し、利用者の利便性の向上を図ります。